



当院では、**睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査**を行っております。



次のような**症状**はありませんか？



睡眠時無呼吸症候群とは？

どんな検査・治療をするの？

睡眠中に何回も呼吸が止まり、ぐっすり眠ることができない病気です。大きなイビキ・睡眠中の一時呼吸停止・眠気・起床時の頭痛などの症状があります。

無呼吸の結果、体が低酸素の状態に陥ることにより**生活習慣病の悪化**が起こるだけでなく、心臓や脳、血管に負担がかかり、**脳梗塞や心筋梗塞などの危険性が高くなります。**

★簡易検査(アプノモニター)

原則、外来で実施。鼻や口での呼吸の状態と血液中の酸素濃度を測定します。自宅への貸出も可能です。

★精密PSG検査(ポリソムノグラフィ)

原則、1泊入院。睡眠時無呼吸症候群のタイプや重症度の判定を行います。

★CPAP(シーパップ)療法

装置から空気を送り込み、気道が塞がらないようにして無呼吸を抑え、生活習慣の改善を目指します。

精密PSG検査は、働いている方も安心して受けられるよう
土日対応可能 (土曜入院、日曜退院)

【お問合せ先：伊達赤十字病院 循環器科】

TEL 0142-23-2211